

公開学術講演会

聖徳大学言語文化研究所

7世紀、皇位継承をめぐる畿内での内乱。勝利した天武は即位し、敗北した兄天智の皇子大友（弘文天皇）は自殺と、史書は語る。だが房総半島には不思議な伝説が残る。生き延びた大友皇子は房総半島で再度天武方と戦い、大友皇子も妃十市皇女も、天武方の高市皇子も、皆房総半島で死んだという。彼らを祀った神社もあるのだ。

公開ですので、ご自由にご参加ください。

演 題 「壬申乱その後～房総半島の壬申乱伝説～」
大友皇子も高市皇子も十市皇女も、皆房総半島で死んだ！

講 師 山口 博 教授（聖徳大学言語文化研究所長）
平塚 憲一 先生（君津市久留里城址資料館学芸員）

日 時 2009年2月25日（水） 13:00～16:00
場 所 聖徳大学10号館14階（松戸市松戸1169・松戸駅東口徒歩1分）
申込み 不要・先着130名（定員に達した場合、入場をお断りする場合がございます）
費 用 無料

主 催 聖徳大学言語文化研究所
問合せ 聖徳大学言語文化研究所 または
聖徳大学知財戦略課
電話 047-365-1111（大代）

